



【学校教育目標】 『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます（知・徳・公）
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます（体・開）



乾きたる 垣根の土や 露の臺

高浜 虚子

校長 星野 久美子

先週、横浜では15℃を越える日が4日もあり、春の気配を強く感じました。四国では「春一番」が報じられる中、強い寒気の影響で西日本では雪が降り、平地でも積雪となっています。寒暖の差が激しい時期なので、バランスのとれた食事や睡眠時間の確保、適度な運動など体調管理に心がけたいものですね。

学校だよりでは生徒の活動を紹介することが多いのですが、今回は年度末に教職員がどのように振り返りを行い、次年度の計画につなげていくかの一例をお伝えします。

今年度、本校では「生徒が主体的に取り組む授業づくり」をテーマに授業研究に取り組んできました。先生方は自分が思い浮かべる「生徒が主体的に取り組む授業」に向けての目標を設定し授業を行い、2月3日～7日に行われた授業研修週間ではお互いに授業を公開しました。2月17日に行われた職員研修会では、グループごとにこの公開授業の感想をもとにして取り組んだことをまとめました。次の内容はその一部です。

【主体的な学び】

「学ぶことに興味、関心をもって、これから自分が身につけたい（なりたい）ことの見通しをもって、更にその改善点を見つけて次のステップにつなげていく学習」

- ・嫌いな教科をどうやって克服するか考えさせ、プランを作って取り組むよう支援をする。
- ・今まで嫌いではなかったことに取り組めるよう励ましながら生徒の主体性を育む。⇒できたらほめる⇒更なるステップアップ
- ・単元の最初は楽しく興味が出るように。
- ・仲間とやると取り組みやすい。グループで教え合う。

【見通しをもった学習】

今行っている学習が次（最終的）にどのようにつながっていくか考えながら取り組む学習

- ・例として、楽しくバスケットボールのゲームができるようになるために、①ルールを覚える ②各技術の練習をするなどに取り組ませる。

【自ら進んで】

- ・最初から正解を教えないで、実験や思考を中心に自ら体験させたり考えさせたりして探求していく姿勢を身につけさせる。
- ・体を使う。子供たちの発想に沿った教材を選び、授業を展開していくことが大切。

知識・理解や思考・判断・表現とともに、主体的に学習に取り組む態度は学力を構成する要素です。本校では、来年度も引き続き「生徒が主体的に取り組む授業づくり」に取り組んでいきます。